

オトワレストラン

オーナーシェフと後継者、それぞれの継承に対する想い

シェフ 音羽 元 はじめ



私がシェフでいられるのは息子だからであり、他人よりも恵まれた境遇であることを自覚し、両親やスタッフに感謝をして仕事に取り組んでいかななくてはいけないと思っています。父は35年間、地元・宇都宮の食文化の発展のために尽力し、必ず有言実行してきました。それにならない、父が築いてきた信頼関係を絶やさず、レストランを発展させ、地元の食文化を活性化させることが私の使命です。今1歳の私の息子も同様に、自然に継ぎたいと思えるような仕事をしていきたいですね。

「父の揺るぎない地元愛と行動力、有言実行である、ことを見習い、店を発展させていきたいと思っています」

「地元の人達と深く関わり、地域に根ざすことの意味を考え、自分に何ができるのか、見出すことが大切」



オーナーシェフ 音羽 和紀

今の世の中、価値観がどんどん変わっている。技術や器なども進化しているので、細かい技術や盛りつけに対してあれこれ言うことはしない。大切なのは時代の流れにのまれないように、人の真似をせず、自分の信念を持ってやっていくこと。料理や技術を継承するというよりも、生産者やアルティザンなど地元の人達と深く関わりながら、地域に根ざす一心でやってきた私の想いを継いで、謙虚に学ぶ姿勢を忘れずに、地元のために自分ができることを見出して行って欲しい。